

- 特に、都道府県外の医学部に設けられた地域枠が一般枠に流用された場合、医師確保への効果は、過去のデータから見てもほとんど期待できない。

奈良県で後期研修を行う者の割合

	奈良県立医科大学	近畿大学	[参考] 大阪府内の医学部
地域枠(※)	100.0%	(対象者なし)	
一般枠	56.3%	1.5%	1.2%
奈良県出身	73.9%	0%	0.7%
その他近畿出身	52.0%	2.9%	2.3%
近畿以外	40.0%	1.7%	0.5%
全 体	57.1%	1.5%	1.2%

※アンケートで地域枠で入学し、都道府県の奨学金を受給していると答えた者

出典：厚生労働省 平成27・28年度臨床研修アンケート

国にお願いすること

- 地域枠は、医師不足を解消するために、**地域医療に従事する明確な意思を持った学生の確保を目的**として、緊急臨時的に定員増が認められたものであり、本来は入学者選抜の時点で対象者を個別に決定すべきである。
- 入学選抜後の事後的な地域枠への割り振りが、**地域医療に貢献する意思のある学生の確保を目的**としている場合には、**地域医療への影響は少ない**と考えられるが、**単なる「地域枠の一般枠への流用」は、地域枠の設定趣旨を逸脱**していることから、**大学が臨時定員増枠を地域枠以外に流用しないよう指導**いただきたい。